辻元清美の永田町航海記 101

イラストレーション／石坂啓

現・元自民党の政局好きの「先輩」たちよ 安心して政治をお任せください

東日本大震災のボランティアリーダー、栗田暢之（くりたのぶゆき）さんから電話があった。「全国に避難している福島の被災者の支援をしたいのだけど……。各地に散らばった人たちの孤独死だけでも食い止めなければ」と。

阪神・淡路大震災で学生たちと被災者支援活動を行なった栗田さんは、名古屋で「レスキューストックヤード」という防災関係のNPOを立ち上げた。中越地震でも支援活動を展開、コツコツ活動を続けてきた。今回も全国七〇〇超のNPOや公益法人などが垣根を越えてつくった「東日本大震災支援全国ネットワーク」の代表世話人の一人を務める。

私は大震災の翌々日に災害ボランティア担当の首相補佐官に就いてすぐ、阪神・淡路や中越で支援を行なった全国のリーダーたちに連携の相談をした。その一人だった栗田さんは当初から福島の被災者支援に心を砕き、「支援を強化するため政府とのさらなる連携を」という電話だった。福島第一原発事故被災者支援の責任者、松下忠洋経済産業副大臣につないで対応策を考えることに。

被災者支援はまだまだ続く。さて、それに比べて永田町。

栗田さんからの電話の前日、新聞の一面トップに「石原新党か?!」という見出しがドカーン。石原慎太郎東京都知事、亀井静香国民新党代表、平沼赳夫たちあがれ日本代表が新党結成に動いているという。

「そんなコトしてる場合か」

東北の被災者や全国に散らばる福島の被災者、必死で除染する人たち、そして今なお多くのボランティアが走り回っているんだよ。

政局好きのオトコたちの動きはあまりに厳しい現実とかけ離れている。そういえば昨年秋、東京・四谷の亀井さんの個人事務所を訪ねると「今にアッと驚くことを仕掛けるから」と意味深なことを言っていた。

もう一つの出来事が頭をよぎる。昨年五月、震災から三カ月もたたないのに、民主党の小沢一郎元代表と自民党の森喜朗元首相、引退していた元自民党参議院のドン青木幹雄さんまでお出ましになり、菅内閣不信任決議案を可決しようという策動があった。政治は何をやっているのかと被災地では怒り、怒りだった。

この二つの出来事の共通点は？登場人物がすべて現・元自民党。みなさん血気盛んなのは結構だが、その経験と知見はぜひ政界以外でご発揮いただきたい。でもこの現象は、私たち世代の政治家の力量不足と言われかねない、と心しなければ。

その私たち。岡田克也副総理の事務所から電話。「税と社会保障の一体改革について全国に直接出向き、対話集会を開きたい」という相談。アノ岡田さんが直接説明、この企画はじゃんじゃんやればいい。

二月五日には、細野豪志原発事故担当大臣と私が大阪で震災対応などについての報告会を開く。

厳しい意見をたくさんぶつけられてこそ、政策は練り上げられる。そしてNPOなどと連携していく。「官邸・霞ヶ関・永田町ムラ」を飛び出して、国民との対話の回路をどれだけつくれるかが問われている。

ギラギラした「先輩」たちに安心してお任せいただけるようにならねば。

（つじもと きよみ・衆議院議員）

1月31日15時現在。最新情報は ››››››››››››› つじともWEB http://www.kiyomi.gr.jp/ ツイッター @tsujimotokiyomi